

防衛省・自衛隊と地域コミュニティとの連携

<地方創生に関する自衛隊の特性>

- 自衛隊の駐屯地・基地には相当規模の人員が所在し、地元経済等に一定の影響力を保有
(例: 北海道名寄市に約2250名、京都府舞鶴市に約3770名、青森県三沢市に約3210名の部隊が所在)
※人数は定員(平成25年度末)
- 自衛隊の部隊の多くは、地方に所在
(例: 陸上自衛隊の人員の3/4は地方に所在)
- 一部の地域では、就業者数に占める自衛隊員の割合は極めて大
(例: 北海道上富良野町: 46.0%)

<地方創生に資する施策例>

- 自衛隊の駐屯地・基地の存在による地域コミュニティの維持・活性化
 - 地方の過疎化が進む中、相当規模の人員が所在する駐屯地・基地の存在により、地域コミュニティの維持や活性化に貢献
 - ➔ 地域特性に配慮した部隊改編や駐屯地・基地の配置 (北海道、島嶼部など)
 - ➔ 地元中小企業の受注機会の確保・拡大
- 大規模災害等に際して自衛隊の部隊を展開する基盤・拠点の整備
 - 大規模災害等に際し、地域特性に配慮して、十分な規模の部隊を迅速に展開して初動対応に万全を期するための基盤を整備することにより、地域の安全・安心に貢献
 - ➔ 新たな災害対処拠点の整備(鳥取県美保基地)など
- 地方公共団体の防災関係部局への退職自衛官の再就職の拡大による地方への貢献
 - 地方公共団体の防災関係部局への退職自衛官の再就職により、地方の防災・危機管理体制の強化に貢献
(45都道府県+201市区町村: 計311名[平成26年6月30日現在])
 - ➔ 自治体との連携の強化や、退職自衛官に対する防災・危機管理教育の充実等の推進